

村井 康博（2009・院理工）

私はすでに東日本大震災の被災地には数回訪れたことがある。しかし、それは津波による被害の大きかった場所ばかりで、内陸の方には行ったことがなかった。そこで今回の機会を使って、会津若松を訪れることにした。

この地域は地震による直接の被害よりも風評被害がひどいと聞いた。震源から離れているため地震の被害はそれほどでもなく、また山に遮られていることで放射能の影響もたいしたことはない。されにあの震災以降、県はマスコミを通じて農作物の安全性を謳ってはいる。しかし、現在福島産の農作物は買い控えされており、スーパーでも福島産の農作物を避けている主婦をよく見かけるし、自分自身がそうであった。これは我々がこの地域の状況について正確な情報を持ち合わせていないのが原因である。

今回の訪問によって我々は現地の方々の声を聞いて、福島の現状について正確に知ることができた。また現地の名物を食べて、その安全性と美味しさを知った。

今後はこのことを周りの人たちに伝えていき、少しでも彼らの助けになりたいと思う。